



SADE の ワークブック

BY
GABRIEL CALVO

世界中の

FIRES

すべての若者へ

あなた達は

将来の預言者

そして希望です。

序 文

このテキストは、神の靈が世界中に広げている愛の革命に关心をもつ 総ての青少年の為に作られたもので、家族から始まりました。

青少年が家族、親せき、友人、地域の人達と自分の個人的、宗教的、社会的体験や家族としての体験等を分かち合い、この愛の精神を広げる為に助け合いたいと願う人達の集いで 手引となるものです。内容は呼びかけ、チャレンジ、約束、誓約、希望。。。等、15のアウトラインがあり、人種、国籍、文明、宗教、身分を問わず、個人でもグループでも利用できます。自己との出会い、家族との出会い、そして神や他の青少年と出合う為、又 将来の新しい家族を作る準備をする為にも、内省する良い機会となるでしょう。



©Copyright 1978 by Gabriel Calvo

このテキストの著者 (Fr. Gabriel Calvo) あるいは著者から託された翻訳者 (Fr. Donnon Murray) の書面での許可がない限り、どの個所にしても 勝手にコピーしたり、引用したり、変えて利用したりすることは 禁止されています。

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

このテキストを使用するには・・・

1. S A D E の体験者に限らず、誰でも興味ある青少年は グループを作り、このテキストを使って話合うことが出来る。
2. メンバーの各々が、テキストを持つ。
3. 15回の集会をするように組まれ、各々の為に一つのアウトラインがあるので1から順にやっていくこと。
4. 集会は 二週間毎に行なうことが望ましいが、無理な場合は月に一回でもよい。
5. 一つのグループは 6人以下、12人以上にならないようにし、できるだけ男女のバランスを保つようとする。
6. 前以て集会の日時、場所、その日に使うアウトラインを決めておく。
7. 各自分が 集会の数日前に、課題について内省し、ノートしてよく準備する。
8. 集会の場所は、なるべく交代に 每回 違う人の家でするとよい。(教会でもよい)
9. 集会に遅れたり欠席したりする時には、連絡するのが礼儀である。
10. 全員が集まつたら、歌か祈りで始める。
11. 当日、集会の司会者を一人 任命する。
12. 各々が自分の体験を分かち合い、互いに話したり聞いたりすることにより理想的な集会になる。
13. 集会の目的は真理は何であるか、どうしたら私達がそれを生かし隣人に伝えられるか、どうしたら自己を改善したり隣人を助けたり出来るかetc. です。だから誰が正しいか、知識があるかどうか等の議論や批判、質問したりコメントを入れたりすることは しない。
14. 自分や家族、友人、地域、環境etc. について分かち合うという自己評価の姿勢が大切である。
15. 集会の最後に、次回の日時、場所、アウトラインを決める。

16. 内省の問い合わせに答える時、「ハイ」「イイエ」という簡単な返事だけでなく自分のビベンチア（生まの体験）を入れるとよい。
17. FIREのSはSERVICE（奉仕）の意味であることを忘れないようにしよう！積極的に参加することも真の奉仕の精神である。
18. 誓約の時間は個人的な時間なのでまわりの人に迷惑をかけないようにする。

※一人一人の発言の中で、神が自分に何を語りたいかを知る為に互いに静かに耳を傾けましょう！



※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※
1 ※※※※※※※※※※※※※※※※※

私 た ち

オリエンテーション：

私達は、何もかもが物質的に興味ある生活をするよう左右し、動かされたり、決めつけられたり、利用されたりする社会の影響を受けて暮らしているので、応しく答えられるように、自分なりの道を発見する必要があります。それには先ず、自分を見つめ、自分自身との深い出会いから始め、自分はいったいどんな人であるかを知ることが大切でしょう。ですから自分を発見するためにも又、現在ある問題にしても、たとえそれが小さくても大きくとも、聖書を通して、生活を通して、神が啓示されている神のご計画を正直に、真剣に、見つめなければならないのです。

内 眇：

(1)家族の一員として、社会の一員として、他人が見ている私達の長所と短所は何ですか。

(2)親、兄弟、姉妹、祖父母は、私達について どう見ていますか。 (何を言っていますか)

(3)私達一人一人は、自分自身の長所や短所を どのように見ていますか。

(4)創世記1章26～31，2章4～25で神が私達をどのように見ておられるでしょうか。

誓 約：

A・私は、自分自身を どの点で もっと変えたり改善したりする必要がありますか。

B・私は、これを実行するために、具体的に どのようにするつもりですか。

※※※※※※※※※※※※※※※ 2 ※※※※※※※※※※※※

私達の必要性

オリエンテーション：

必要性ということに、特別な定義はいりません。何故なら幾つかの必要性は体と関係があり例えば食物、睡眠、話したり、笑ったり、泣いたり、働いたりetc. と根本的で はっきりしているからです。それほど明白でない必要性もあります。対人関係の必要性は、その中に入っています。それは 人間の最も深い感情とのつながりがあり、時によって強く必要性を意識しますが、気付かない時もあります。例えば、シンナー遊びは愛に飢え、満たされない欲求不満という根本的必要性の欠如に気付かずに行うことが多いのです。必要性ということは、私達の行動や真の喜びに関係し、影響するので各々に、本当の必要性は何かということを発見することが とても大切です。

内 眇：

- (1)私達が家族のメンバーとして、最も重要な五つの必要性は何ですか。
- (2)私達の一番急を要する必要性は 何ですか。何故でしょうか。
- (3)私達は、神を必要としていますか。何故でしょうか。
- (4)創世記 3章で神が 私達に教えておられるメッセージは何でしょうか。

誓 約：

A・私が今 一番急を要する必要性は 何ですか。

B・私は、これを解決するために 具体的に何をしますか。

※※※※※※※※※※※※※※※ 3 ※※※※※※※※※※※※

私達の問題

オリエンテーション：

最近、あちこちで 様々の問題について、よく耳にします。例えば、本や新聞をとっても、都会、田舎を問わず巷の組織や運動、隣り近所や教会、家の中、映画、T V. どこでも問題だらけで、人生は複雑だとか めんどうだとか考えがちですが、決してそうではありません。私達は前述のような姿勢で、問題に当たることが大切です。人生は優れた神祕なのですから

内省：

- (1) 私達にとって、最も重要な五つの問題は何ですか。
- (2) その中でも一番の問題は何ですか。何故でしょうか。
- (3) 私達の問題と神と、どんな関係がありますか。
- (4) 創世記4章で、神が私達に教えておられるメッセージは何でしょうか。

誓約：

A. 私が 今、一番大きく感じている問題は何ですか。

B. 私は その問題に対して、具体的に何をしますか。

私達の価値観

オリエンテーション：

価値観について定義するなら、私達の行動を左右する理想、目的や基準であると言えるでしょう。私達は“何故”〇〇をするかを 価値観によって決めます。価値観とは、最も大切だと思い、その価値を認め、進んで色々な物事を切り捨てたり犠牲をはらったりするものです。

自分は何に価値観を置いているかを知りたいなら、自分の時間や物、金、エネルギー等を どのように使っているか調べべたら わかります。

内省：

- (1) 現代の私達は、何を一番大切にしていますか。リストを作って下さい。
- (2) 私達が最も大切にしている価値観を三つといえば、何ですか。何故でしょうか。
- (3) 親が 私達に植えつけた価値観は何ですか。
- (4) 私達の学校や教会は、どんな価値観を教え、植えつけているでしょうか。
- (5) 社会が私達に与える価値観は 何ですか。
- (6) 聖書を通して 神が私達に教えている価値観は 何でしょうか。

誓約：

A・私がこれから最も大切にすべき三つの価値観は 何ですか。

B・私は それらを実行するために、具体的に何をするつもりですか。

私達の心配

オリエンテーション：

私達には様々な心配がありますが、中でも一番大きな問題や心配、悩みの原因は、もしかすると 世代の断絶かもしれません。つまり、年上の人と私達の間で しばしば起こる 対立した意見や価値観の違いです。

私達は、家でも学校でも、教会、職場、社会・・・どこでも、世代の異なる人達と共に暮らしています。ですから勿論、いつの時代でも この断絶状態はあるのですが 現在ほど この“ギャップ”的な時代はないようです。この状態が続いてよいでしょうか。それとも“橋”—世代間の通じ合いの橋をかけるべきでしょうか。私達は 何から始めたらよいでしょう。これこそ、現代における一番大きなチャレンジです。

内省：

- (1) 現代に生きる私達の、主な心配は何ですか。
- (2) 私達の両親の、主な心配は何ですか。何故でしょうか。
- (3) 私達の社会の、為政者の 主な心配は 何ですか。何故でしょうか。
- (4) 私達の宗教的指導者の、主な心配は何ですか。何故でしょうか。
- (5) 伝道の書 40章1～27で、神が私達に教えているメッセージは 何でしょうか。

誓約：

A・私達は、年上の人達との間のかけ橋を どのようにしたら かけることが出来るでしょうか。

私達の体験

オリエンテーション：

人生の本質は、私達の体験（ビベンチア）から成っています。

人生の体験は三つの時限——過去、現在、未来があり、一般的に大人は人生の専門家だと思っているようです。大人は過去に基づく現在に生き、将来について常に心配しているのに反し、若者は過去のことは問題にせず、関心がなくて徹底的に現在に生きています。そして無意識のうちに将来に向かい、突っ走るのです。ですから、特に世代の異なる人との間での対話の為などに、人生の体験（ビベンチア）は、基本になります。ただ、自分の中にあるビベンチアを発見し、誰とでも分かち合おうという心が大切なのです。

内省：

- (1)私の幼児のころの 最も良いビベンチアは何でしたか。
- (2)私の家族の中の 最も良いビベンチアは何でしたか。
- (3)私の 最も良い 靈的なビベンチアは何でしたか。
- (4)社会での 私の最も良いビベンチアは何でしたか。

誓約：

A・上記五つのビベンチアの中で、現在においても 将来においても、私の生活に結果的に 一番良い影響を与えているものは どれですか。

B・どのようにしたら 私の親、兄弟、姉妹達と 自分の体験（ビベンチア）を分かち合うことが出来ますか。

私達の将来

オリエンテーション：

人間は 何世紀もの長い間、食物と雨風を^{うぶ}凌ぐ家があれば生活できると考えていましたが、だんだん、より楽な生活をする為に様々の物質的な物を求めるようになりそれらが増えれば、幸せになれるだろうと信じるようになりました。現在に於て、それらの夢は実現されています。それなのに多くの人達は心が満たされず、不幸せです。私達は、地球さえ滅ぼす危険性のある、この物質的、世俗的な暗い考え方を捨てて、代わりに誠実、正義、自由、信頼、平和、愛、一致etc. に価値観を置く新しい社会と替える必要があります。そうすれば上記のような価値観が総ての人のものとなり、総ての人の為になって、神のご計画に基づく社会になるでしょう。私達は、そういう希望の証人でならなくてはなりません。

内省：

- (1)私の考えでは、将来の社会の 主な三つの特徴は どういうことになるでしょうか。
- (2)第三次世界大戦が起くると思いますか。どうでしょう？何故ですか。
- (3)神のご計画に基づく社会は、どういうものでしょうか。
- (4)現在のように暴力の多い社会から、神のご計画に基づく愛と一致のある社会にする為の第一歩を踏み出す為に 何が必要ですか。
- (5)エレミヤの書1章4～19で、神が私達に教えておられるメッセージは何でしょうか。

誓約：

A・私は 希望の証人となる為に、自分の生活の中で 何を変えなければなりませんか。

B・具体的に、どうしたら それを実行することが出来るでしょうか。

私達の現在の家族

オリエンテーション：

私達の家族は、激しく変化する現代社会に生きているので、共に変わってきています。そして大部分の家族は、その変化や成長の為に 重大な危機を体験しています。現在は 各々の家族が家族として目覚め、自分達を見つめるよう そうしたチャレンジが求められている時代です。神は各々に 自分の召命や現代社会の中での使命を発見するようドアを叩かれ 招いておられます。各々の家族が、人生の将来に於ける希望の証人になるべきなのです。

内省：

- (1) 私達の家族が体験している 激しい変化という 重大な危機の兆や印は、何ですか。
- (2) 私達の現在の家族で、最も重大な問題は何ですか。
- (3) 私達の現在の家族で、最も貴重な価値観は何ですか。
- (4) 聖書の中で教えられる、現在の家族の為の神のメッセージは 何でしょうか。

誓約：

A・現在 私は 自分の家族の為に、具体的に何をしていますか。

B・私は これから 家族の為に、何をすべきで、何が出来るでしょうか。

C・どのように、それを実行しますか。

家族の通じ合い

オリエンテーション：

すべての人にとって（人格的な）通じ合いを学ぶ場になるのは、家族です。現代の家族の中で最も大きな問題の一つになっているのは、互いの通じ合いの不足です。それは、家族の一人一人の為だけでなく、社会や宗教を形成している多くの家族の為にも、きわめて重大なことです。

私達の家族には今まで多くの変化がありました、これからも様々の事で変わらでしょう。それが良い方向に変わる為にどうしても必要な事は、互いの愛に満ちた深い通じ合いです。そう思いませんか。

内省：

- (1) 私達は自分の家族の中の通じ合いが大切だと思いますか。何故ですか。
- (2) 私達が日ごろ接している家族の中の通じ合いは、どんな状態ですか。何故でしょうか。
- (3) 私の家族の中の通じ合いはどうでしょうか。何故ですか。
- (4) 聖書は家族の通じ合いについて、メッセージを与えていますか。あるなら、どんなメッセージですか。

誓約：

A . 私は自分の家族一人一人と通じ合う為に、具体的にどんな方法をとっていますか。

B . 私はそれを実行する為に、何を、どのように改善することが出来ますか。

家族の相互関係

オリエンテーション：

家族は、人間生活の根本的、基本的な関係です。ですから家族の中に良い関係がなくては、本物の家族になれませんし 他の人達との人間関係にも影響するので、家族の中での相互関係は とても大切です。

神は人間を孤立したものではなく、家族や隣人と関わりをもつものとして創されました。そういう関係を深めるよう努めるなら幸せになりますし反対に、怠るなら人格的に成長も出来ず、家族の中で幸せを見い出せずに外に求めるようになります。現代、世界中で、ますます多くの人達がそうなってきています。そして悩み、この問題から逃避し、逃れようと酒におぼれたりギャンブルに走ったり etc. していますが、それは決して解決になりません。

内省：

- (1) 私と家族一人一人との関係は、どんな状態ですか。
- (2) 私は 家族の誰と最も良い関係ですか。
- (3) 私は 家族の誰と最も難しい関係でしょうか。
- (4) 聖書の中で、人と人との相互関係について、神は 何を教えていますか。

誓約：

A・ 私と家族の各々の人達との関係を どうしたら もっと 改善することが出来るでしょうか。

B・ この最も大切な共同の務めを、どうしたら互いに助け合えるでしょうか。

※※※※※※※※※※※※※※ 11 ※※※※※※※※※※※※
私達の祈り

オリエンテーション：

神とは、何かではなく 誰かです。神は、天と地、そして私達の創造主で 存在そのものなので、全人類が頼れる方です。ですから私達の家族の中で、誰よりも、何よりも神が優先されているはずですし、神との関係は、家族の一員と同様に個人的、直接的であるべきです。

私達の家族は 神を、このように考えているでしょうか。現代、多くの家族が神によらずに変わったり、改めたりしようとしていますが、果して それが可能でしょうか。家庭崩壊、その他、多くの家族に問題がありますが その第一の原因是、神の不在にあるのではないかと思われます。

内省：

- (1) 実際問題として、私達の家族の中で 神が第一になっていますか。神を優先している印は何ですか。
- (2) 神と私の 個人的で直接的な関係は どんな状態ですか。何故ですか。
- (3) 神と私の家族の 直接的な関係は、どんな状態ですか。何故ですか。
- (4) 創世記 11章1～9で、神が私達に与えておられるメッセージは 何でしょうか。

誓約：

- A・神と私の 個人的で直接的な関係を、どのように改善することが出来ますか。
- B・神と私の家族の 直接的な関係を、どのように改善することが出来ますか。
- C・私は 家族の中で、神を第一にする為に、具体的に何をすることが出来ますか。
- D・私達は 神と その靈に 家族で心を開くというチャレンジに対して、互いに
どのように助け合えるでしょうか。

開かれた家族

オリエンテーション：

私達は、自分の住んでいる地域社会や教会、信仰等、普段接している人達の中でオープンになって、よりよく通じ合い 家族のエネルギーを放出する為に、一致しなければなりません。私達が もし閉鎖的であるなら、人格、夫婦、家族、地域社会・・・各々の者として死んでしまうでしょう。何でも自分の中に閉じこめてしまふと、枯れはて 死んでしまうのです。神が私達の召命、また現代社会の中の私達の使命を発見する為に、家庭に御自分の靈を送って下さるように 願わなくてはなりません。

私達は家族として、神の炎です。それは自分達だけの為でなく、他の家族と地域社会の人々、また神が御自分の民に約束された“約束の地”へ旅する途中で行き合う人々の生活を照らし、愛の暖かさや友情を広げ、伝える為に与えられています。

内省：

- (1)私の家族は ダイナミックで開かれていますか。その良い兆、悪い兆のリストを作って下さい。
- (2)私の家族は 住んでいる近隣、地域、社会に何を与えてていますか。
- (3)私の家族は教会(個々の信仰)に 何を与えていますか。
- (4)私の家族は、家族として他の家、近隣、地域、教会、信仰に影響を与えるような用意が出来ているでしょうか。
- (5)創世記12章1～9で、神が私達に与えておられるメッセージは 何でしょうか。

誓約：

- A・私は 家族がよりダイナミックで開かれるようにする為に、具体的に何が出来ますか。
- B・私達 各々の家族が近隣、地域社会、教会、信仰・・・国まで、より深い影響を与える為に共に出来ることは 何ですか。
- C・どのように それを実行できますか。

私達の将来の家族

オリエンテーション：

私達の現在の家族は、すでにゴールに到着しているものではなく、将来の家族を作り出す為の出発の時点になっています。そのことを神は“この為に男は父母を離れて その妻と合い、二人は一体となる”(創世記 2：24)と教えています。いつか私達も、自分の親や兄弟姉妹から離れて 新しい家族を作る喜びがあるでしょう。その家族は、どんな家族でしょうか。 総ては、私達一人一人にかかっています。将来の家族は 人間の歴史の中で 愛の革命を起こす為に、神から蒔かれた種のようなものです。それは小さくても大きな力があり、すでに私達の中に存在しているのです。

内省：

- (1) 私達は、将来の家族が どうなってほしいですか。
- (2) 私達は、将来の結婚が どうなってほしいですか。
- (3) 私達は、将来の親が どうなってほしいですか。
- (4) 私達は、将来の自分の子供が どんな子供になってほしいですか。
- (5) エレミヤ1章4～10で、神が私達 一人一人に与えておられるメッセージは何でしょうか。

誓約：

A・将来 新しい家族を作る為の準備として、自分の生活の中で 何を変えたり 改めたりしようと思いますか。

B・私達は、将来の家族が しっかりした永久の基礎を築く為に、どのように助け合うことが出来るでしょうか。

現代の若い男性

オリエンテーション：

現代の若い男性について、どう思いますか。 にあります。 が過去の若者の紙は自分を改善する為に積極的に助け合えるよう、一緒に考えてみましょう。個人的にも又グループとしても、現実を直視する必要があります。

他の人が何とかしてくれるだろうではなく、自分で勇気を出して直視し、正直に友好的に分かち合いましょう。

内省：

(1) 現代の若い男性に関して、一番好きな点は何ですか。

(2) 現代の若い男性に関して、一番好んでない点は何ですか。

(3) 現代の若い男性に対して、どのようにになってほしいですか。

(4) エゼキエル37章1～14で、神が私達に与えておられるメッセージは何でしょうか。

誓約：

A. 上記聖書の個所で、神が自分に呼びかけておられることに対して、どのように答えるつもりですか。一人一人お読みになり、それをまとめて下さい。

B. 神の招きに勇気をもって正直に答える為に、互いにどのように助け合うことが出来るでしょうか。

現代の若い女性

オリエンテーション：

現代の若い女性について、どう思いますか。以前の女性とは、かなり異なります。良くなっているのでしょうか、悪くなっているのでしょうか。長所や徳、欠点、可能性は何ですか。若い男性の行動に、どんな影響を与えているでしょうか。心からの深い分かち合いをしましょう。

内省：

- (1) 現代の若い女性に関して、一番好きな点は何ですか。
- (2) 現代の若い女性に関して、一番好きでない点は何ですか。
- (3) 現代の若い女性に対して、どのようにになってほしいですか。
- (4) イザヤ55章1～13で、神が私達に与えておられるメッセージは何でしょうか。

誓約：

A・上記の聖書の個所から神が自分に呼びかけておられることに対して、どのように答えるつもりですか。

B・私達は神の呼びかけにグループで答える為に、互いにどのようにして助け合うことが出来ますか。

C・私達のような若者に神のみ言葉を伝える為に、私達が出来ることは何ですか。

